可変部品の使用方法 I

中級編【水平、垂直方向の可変部品(数式入力あり)の作成、及び配置】

(_____

登録済みの寸法値が応用できる「数式入力」を使用した可変部品の使用方法について記載します。 本解説書は、図脳 CAD 部品集「軸受 7. zrp」を基に解説しております。 (登録原点の指示の為、補助線が作図されています)

水平、垂直方向の可変部品の登録

- 1. [作図]-[可変部品]-[登録]コマンドをクリック。
- 2. 可変部品として登録する図形要素を選択します。

ζ.	可変印加として豆跡りる凶形安糸を選択しまり。	□ 変那過登録 この図形を選択しますか? この図形を選択しますか?
3.	登録原点をクリックします。	登録原点をクリック
4.	[水平方向]にチェックを付けて[了解]ボタンを押しま す。	可変部品登録 <u>▼^{WE}5点(1)</u> ● <u>M平</u> ● <u>M平</u> ● <u>小平・垂直を両方向パラメトリックで指定する(B)</u> 了解 登録 取消 [了解]ボタンを押す
5.	変形基準点をクリックします。 (今回は線上の任意の点を基準点として指示します。)	変形基準点をクリック

6. 変形移動点をクリックします。 (変形する際の移動方向を指定します。)

7. 仮寸法の通過位置をクリックします。

の寸法線の位置です。)



8. [しない]に印を付けて[了解]ボタンを押します。



9. 変形する領域を範囲選択します。

変形する箇所のグリッド点が表示されます。
[完了]ボタンを押します。



続いて、垂直方向の変形方向を設定します。 垂直方向については、「数式入力」を行います。

11. [垂直方向]にチェックを付けて[了解]ボタンを押します。



12. 変形基準点をクリックします。 (今回は線上の任意の点を基準点として指示します。)



13.変形移動点をクリックします。

(変形する際の移動方向を指定します。)



14. 仮寸法の通過位置をクリックします。

([可変部品配置]ダイアログボックスで表示される 仮の寸法線の位置です。)



「X01」と入力

取消

[了解]ボタンを押す

垂直

×

可変部品登録

数式入力

🔿 Lt:(.)(N)

◎する(<u>D</u>)

Y01 =

変数

X01

水平

半径: 了 解 X01

- 15. [する]に印を付けて「X01」と入力します。
- 16. (この設定で変数の値が X01 と同じになります)
- 17. [了解]ボタンを押します。
- ※数式入力の際使用できる変数は、現在登録中の可 変部品において、既に設定した可変部分の寸法値変 数のみです。
- 19. 変形する領域を範囲選択します。



20. 変形する箇所のグリッド点が表示されます。
[完了]ボタンを押します。

21.	[登録]ボ:	タンを押	します。

21.	[登録]ボタンを押します。	可変部品登録 一変形方向(D)-		EX	
		◎ 水平	() 垂直	◎ 半径	
		🔲 水平・垂直を	両方向パラメトリックで	『指定する(<u>B</u>)	
		了解	登録 5	取消	
				[登録]ボ	タンを押す
22.	[フォルダ/ファイル名]欄に可変部品名称を入力し、	可変部品登録			
	「了解]ボタンを押します。	オルダ/ファイル名(E)	軸受_水平垂直		参照(<u>B</u>)
		□Poo 名か(N) 作成者名(C)			_
		部品番号(山)			
		作成日付(M)	2015 年 7 月	31 日	
		■部品登録時(こ図形)	をグループ化する(<u>G</u>)	部品属性設定(A)	
			了解	[了解]ボタ	ンを押す

以上で数式入力を利用した水平、垂直方向の可変部品の登録が完了しました。

オプションキットのメカニカルキット「メカニカルキット for 図脳 RAPID Ver.4」があれば、登録した可変部品の修 正を行うことができます。

2 図版RAPIDPRO18 - [即品编集: 軸受_水平垂直.zsvx]		🔺 🖬 🖬 🗶
: 💽 ファイルKF) 編集(E) 表示(V) 作図(D) 補助(G) ラスタ(R) メカニカルKM) 土木(C) 建築(A) 設備(Q) 設定(S) ツールKT) ウィンドウ(W) ヘルブ(H)		- 8×
	・ 権細 ・ 実 線	• 🔳 • 🥒 🚽 🛜 📵
マルチパレット 4 × 部品編集:軸受水平垂直.zsvx × H 4 ▷	▶ ▶ 作図レイヤ	Ф × 🕅
1 1<	• (bit) + ₹ 48 • (b) + 1 • (b) + ₹ 48 • (b) + 7 • (c) + 7 •	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
-30		
		•
	6.6	0

引き続き、登録した可変部品の配置を行います。

可変部品の配置

3.

[作図]-[可変部品]-[配置]コマンドをクリックしま 1. す

[図脳エクスプローラ]が起動します。

配置したい可変部品をダブルクリックします。

2. [可変部品配置]ダイアログボックスが表示されます。 仮寸法の値を変更し[適用]ボタンを押すと、プレビュ 一画面で変形結果が確認できます。

数式入力を設定した箇所も連動して変形します。

0 • 0 • 🤹 🕼 🐲 🗼	a 🙇 🖩 •0	
アドレス 🔏 C:¥Users¥Public	Documents¥CADDATA¥PART	- 2 B
😑 🚢 ローカル ディスク・	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
E	■受,水平毎回 20××	



[寸法値変更前]



[寸法値変更後]



4. 図面上に変形した部品を配置することができます。 (左側の部品は変形前の部品です。)

